

しんあい

季刊

2018年(平成30年)3月20日発行 第105号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい！



スターバックスコーヒーの方が、年4回程いらして下さいます。
身も心も温まる、美味しいコーヒー、ごちそうさまでした。（岩本町ほほえみプラザ）

泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター
泉苑ケアセンター

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑

あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑
高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市高齢者住宅うらら多摩

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・千代田区立かがやきプラザ
相談センター

児童福祉

- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

◆ 新・介護保険を考える20

◆ 多摩同胞会の
地域公益活動〔2〕
～子育て支援～

◆ きずな第一期工事完了

◆ 施設だより 「春が来た！」

新・介護保険 を考える 20

－介護の保障と 生活の保障－

理事長 鈴木 恂子



2000年に介護保険制度が施行されて以来、7回目の報酬決定が注目されているさなかの2018年2月2日に札幌市の共同住宅で火災が発生し、多くの高齢者が犠牲になりました。2009年のたまゆらホームの火災も記憶に新しいことです。

入居されていた高齢者は都内自治体から紹介され、生活保護受給者がほとんどだったと報道されています。所得が少なく（ほとんどなく）家族もおらず、住む家もない高齢者が安心して生活できる場はないのでしょうか。

老人福祉法は1963年に施行され、当時養護老人ホームには、単身で体をこわし、働けなくなり、住むところを失った高齢者が多く生活していました。高度経済成長期を経て、豊かになった社会でも家族がなく、就労できず無収入となり、住む場所を持たない、高齢者は多く存在します。2000年までは養護老人ホームがそうした高齢者の生活の場として、福祉事務所と連携して生活をまもっていました。また、軽介護の方が特別養護老人ホームに入所していたのもそうした理由からでした。

介護保険法施行と同時進行した社会保障基礎構造改革の一環として各種福祉法に基づく措置制度も大きく変化しました。措置費といわれる運営費や入所者の生活費は、地方交付税として各自治体の一般財源に吸収されました。そのため福祉施設入所枠が各自治体の年度予算で決まり、地域包括支援センターなどで入所の必要性を相談しても、なかなか入所につながらず地域で生活保護費で生活することが優先される実情です。一方措置費で運営する福祉施設の利用率は低迷して空室が目立つ現状です。

支援を必要とする人は、住むところだけあっても、その人らしい生活の維持は困難です。人間の生活の基盤は、やはり衣食住の安心です。福祉施設は国民の生活を保障する場として、1960年代から歩んできましたが、2000年以降の制度改革で福祉施設が機能低下してきたように思います。今回はあらためてその内容を検証してみます。

2000年以前		高齢者の生活を支える3要件		2000年以降	介護保険制度以降の	高齢者の生活	変	化	新	しい	動き					
在宅サービス	特別養護老人ホーム	要介護度	介護	介護施設サービス (原則3以上)	介護型有料老人ホーム	ケアマネジャー →ケアプラン →居宅サービス	変	化	新	しい	動き					
												5	4	3	2	1
有料老人ホーム	養護老人ホーム	日常生活	生活衣食住	居宅サービス グループホーム 小規模多機能 定期巡回随時対応 各種居宅サービス	一般有料老人ホーム	介護予防	変	化	新	しい	動き					
ケアハウス												住まい	住居	多様化 自宅+有料家事サービス	有料家事サービス	自宅
軽費老人ホーム																
高齢者住宅	自宅	住居	多様化 自宅+有料家事サービス	自宅												

【参考】

老人福祉法	介護保険法
(S38年7月11日成立・8月1日施行・直近改正H26年)	(H9年12月7日成立・施行H12年4月1日直近改正H28年)
(目的) 第1条 この法律は、老人の福祉に関する原理を明らかにするとともに、老人に対し、その心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じ、もつて老人の福祉を図ることを目的とする。	(目的) 第1条 この法律は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、国民の共同連帯の理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もつて国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする。



当「介護保険を考える」は1996年5月20日発行(30号)より計53回にわたり連載をしてきましたが、今号をもって一区切りとし、次号から新シリーズ「社会福祉を考える」を企画中です。いままでのご愛読、多くのご支援ご感想に厚く御礼申し上げます。ご意見やご感想等がございましたら、ぜひしんあい編集部までお寄せください。

2018年3月5日に平成29年度居住支援全国サミット(国土交通省・厚生労働省主催)を傍聴しました。今回のテーマに深くかかわる内容でしたので、【】の新しいキーワードを中心に簡単にご紹介します。

■【居住支援】
厚生労働省と国土交通省が協働して始めている新しい制度。自治体に対しても次のように呼びかけている。「国のみならず自治体においても、福祉・住宅部局間での情報共有、連携強化を図るとともに、居住に係るハード・ソフトの両施策を一体的に実施するなどにより、居住に困難を抱える者へ必要な支援が届くよう取り組んでいく」

■【住宅確保要配慮者】：居住に課題を抱える人ソフト面の支援(厚生労働省)
・高齢者：「高齢者の安全な住まいの確保に資する事業」(H29年度から)
・障害者：地域生活を支援する新たなサービス「自立誠意活支援」(H30年度から創設)
・生活困窮者-生活困窮者地域居住支援事業(H30年度予算等)
・子ども-社会的養護自立支援事業等

ハード面の支援(国土交通省)
新たな住宅セーフティネット制度(住宅セーフティネット法 [H29年4月26日公布 10月25日施行])
・住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録制度
・専用住宅の改修、入居への経済的支援制度
・住宅確保要配慮者のマッチング、入居支援(居住支援協議会と居住支援法人)

■【居住支援協議会】
住宅セーフティネット法に基づき、地方公共団体、不動産関係団体、居住支援団体等が連携して設立。要配慮者向けの住宅情報の提供や相談、紹介等の支援を実施。

■【居住支援法人】
住宅セーフティネット法に基づき、居住支援を行う法人(NPO法人、社会福祉法人、社団法人、居住支援を目的とする会社など)として都道府県が指定。都道府県は住宅確保要配慮者の居住支援に係る新たな担い手として指定することが可能。

省庁を超えたこの新しい制度がモデル事業で終わらずに、支援を必要とする方々の安心につながるよう覚悟をもって取り組んでいくことが大事です。

(編集：法人事務局 青木 志乃)

多摩同胞会の地域公益活動2



しらとり・たっちの地域公益活動

多摩同胞会では、地域公益活動の一環として、府中市にあるしらとりとたっちで、地域の子どもたちや子育てをしている保護者の方たちが参加できる活動を行っています。

一つは、しらとりで実施している、中高生を対象とした学習サポートサロン『Shiratori Kids Yard』です。学習を支援するだけでなく、信頼できる大人との出会いの場、居場所の一つとなれることを目的としています。

そして、しらとり・たっち双方で、乳幼児と子育て中の保護者を対象とした交流会・講座などを実施しています。親子の交流や、子どもたち、子育て中のお母さん・お父さん同士の交流、子育て中の生活にまつわるヒントを持ち帰っていただける場として活用していただきたいと思います。

地域・社会の“子育て力”の向上は、大きな課題になっています。その中で私たちが“社会福祉法人”として果たせる役割は何であるのか、試行錯誤しながら取り組みを続けていきたいと思います。

（たっち センター長 畑山 恭子）

しらとり 学習サロン

しらとり学習サポートサロン SKY は、開設より3年目を迎え、現在高校3年生から中学1年生 11 人の子どもたちが登録しています。高校受験に向けて塾の時間と重なってしまったなどそれぞれの事情により休んでいる子もいますが、毎回概ね5～6人の子どもたちが来所しています。4月より活動場所が武蔵台文化センターから隣接する泉苑の4階ホールになりました。毎回スタッフが付き、子どもたちはそれぞれのペースで勉強を進めています。時折入れるおやつタイムは、息抜きだけでなく子どもたち同士でコミュニケーションを図る機会にもなっています。人見知りの子が多くいますが、声を掛けるきっかけになったり、分け合いながらお互いの学校の話やテレビの話をしたりしています。

どんな活動をしているのでしょうか…

行事をほぼ毎月行っています。

企業から招待いただいたミュージシャンのライブ鑑賞やサッカー観戦へ行ったり、あさひ苑でボランティア体験をしたり、泉苑としらとりが行っている合同の季節行事（夏祭りやもちつき）でもボランティアスタッフとして活躍しています。行事への参加も積極的で、子どもたちも次はどこに行くの？あそこに行きたい！これが見たい！といったいろいろな意見が出てくるようになってきました。10月には行事ミーティングと称し、学習後におにぎりを食べながら、今後行きたい場所や作りたいもの、やりたいことのアイディアを出す会議を行いました。子どもたちからは食事を増やしてほしいと意見も上がり、来年度へ生かしていきたいと思っています。



今後も子どもたちと話し合いをしながら、様々な活動へ広げていきたいと思います。



SKYの由来…

子どもたちと職員でそれぞれ候補を出し、最後には全員で投票を行い「スカイ」に決定しました。スカイから表記を英語(SKY)にし Shiratori Kids Yardとサブネームをつけました。子どもたちにとって居心地のいい場所になることを目指しています。

（しらとり学習サポートサロンSKY 嶋田 歩）

「赤ちゃん・ふらっと」 をご存じですか？



プライバシーを保てる授乳場所、オムツ替えのできる設備、調乳用のお湯の提供など、小さなお子さんを連れの方が安心してお出かけできるよう整備されたスペースのことで、愛称を「赤ちゃん・ふらっと」といいます。東京都福祉保健局から指定を受けたこのような施設には、入り口などわかりやすい場所に大きなステッカーが貼ってあります。

しらとりやたっちも「赤ちゃん・ふらっと」の指定を受けており、赤ちゃんと一緒に外出した時に、おむつ替えや授乳などを安心してできる設備を整えていますので、お出かけの際は是非ご利用ください。

たっち 子育て交流会・講座 参加人数実績（総数）

交流会		26年度	27年度	28年度
0歳児交流会 ころりんクラブ 各3回 定員16組	3～4ヶ月の第一子と母	131組 (260人)	113組 (226人)	116組 (232人)
	5～6ヶ月の第一子と母	150組 (303人)	142組 (284人)	148組 (299人)
1歳児交流会 はいぼ 各2回 定員14組	1歳2ヶ月～1歳5ヶ月の 第一子と母	51組 (102人)	57組 (114人)	59組 (118人)
	1歳5ヶ月～1歳7ヶ月の 第一子と母	52組 (106人)	54組 (108人)	64組 (128人)

講座

2歳のイヤイヤ期とどう付き合う？	年1回 2日間 定員10組	17組 (31人)	20組 (39人)	19組 (36人)
きょうだい育て	年1回 2日間 定員7組	12組 (32人)	13組 (24人)	12組 (34人)
ようこそ赤ちゃん	年1回 1日間 定員15組	14組 (38人)	14組 (36人)	13組 (36人)
パパと遊ぼう	年2回 1日間 定員15組	27組 (55人)	22組 (44人)	24組 (48人)

ひろばでタッチ	年12回 1日間 定員20組	12回 160組 (323人)	11回 158組 (316人)	12回 124組 (248人)
---------	----------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

しらとり 子育て交流会・講座 参加人数実績（総数）

		26年度	27年度	28年度
オープンルーム	月2回 当日受付	520組 1,119人	474組 1,094人	415組 923人
ミニルームあいあい	テーマ別 定員12組	9回 63組 136人	5回 35組 92人	5回 37組 77人
ノーバディーズパーフェクト	定員10組（参加者固定） 全7回	46組 92人	43組 82人	53組 106人
親子でグッドコミュニケーション	定員20組		17組 35人	17組 35人
リフレッシュヨガ	定員16組	1回 16組 33人	1回 13組 26人	2回 25組 52人
親子でクッキング	定員6組	5組 16人		
ミュージックベルを奏でよう	定員6組	2組 4人		
親子たいそう「しらとり！」	月1回 定員10組	55組 149人	68組 184人	70組 183人

しらとり

しらとりひろばは、年末年始と日祭日を除き、10時～16時まで未就学児と保護者の方が気軽に集える場です。普段はお子さんと保護者の方が自由に遊べるよう、スタッフは見守りを中心としたかわりをしてはいますが、月に2回「オープンルーム」を開催し、お誕生会や季節に合わせた制作、ふれあい遊びなどを行っています。年に2回は近くの公園に出向き、みんなで外遊びを楽しむ日もあります。地域に親子で集える場所がほとんどなかった平成8年に地域のボランティアや民生委員の方々のご協力により活動を始め、継続的にご支援いただいております。多世代間の交流が楽しみのひとつになっています。

また、テーマに沿って参加者を募り、講師の方のお話を聞いたり参加者同士交流できる「ミニルームあいあい」、3、4、5歳児を対象とした親子たいそう「しらとり！」、親子の効果的なコミュニケーション方法を学ぶ講座等各種企画しています。これらは事前申し込み制ですが、すべて無料でご参加いただけます。

小規模でゆったりと時間が流れるしらとり…ぜひお立ち寄りください。

（しらとり センター次長 宮本 靖代）



たっち

たっちでは、子育て中のご家庭を対象とした交流会を実施しています。0歳児を対象とした「ころりんクラブ」、1歳児を対象とした『はいぼ』は、親子遊びや歌を通じた子育ての仲間づくりを目的としています。少人数グループでの交流、仲間作り、親子遊び、わらべ歌、手作りおもちゃの作成等を行っています。

また、妊娠中のご夫婦や、幼児を持つご家庭を対象に、楽しく自分らしい子育てを見つけるために、様々な子育て講座を実施しています。新しくお兄ちゃん・お姉ちゃんになるお子さんと一緒に赤ちゃんを迎えるための準備講座として「ようこそ赤ちゃん」。2歳児のイヤイヤへの対応を学び分かち合う講座「2歳児のイヤイヤとどう付き合う？」。お父さんと1歳のお子さんを対象とした「パパと遊ぼう！」



きょうだいのいる子育てをみんなで考えていく「きょうだい育て」等を行っています。

さらに、これからお友だちやお知り合いを作っていきたいと思っていられる方を対象に、「ひろばでタッチ」という交流の場を毎月1回設けています。

様々な交流会や講座を通して、ご家庭に寄り添い、お子さんの成長を共に見守っていききたいと思います。

（交流ひろば 星野 幸子）



きずな 第1期工事完了（新棟への引っ越し）

平成29年1月から始まった第1期工事が約1年を経て、ついに完成しました！

新棟は、総工費約9億9千万円、延床面積15443㎡、5階建てでエレベーターが設置され、母子生活支援施設（20世帯）、緊急一時保護室、事務所、静養室、学習室、相談室、ボランティア室等が整備されました。第2期工事では保育室、集会室、緊急一時保護室、子どものシヨートステイ1部屋が増設されます。

すべての居室は法で定められている30㎡ですが、そのうちの10室は多子世帯用として40㎡以上としていますし、キッチンは対面式となっていて使い勝手のいい居室です。

白い5階建ての新棟は、まわりに高い建物がないので電車の中からも見つけることができます。

1月24日、あちこちにまだ雪の残る中でしたが地域の皆様、福祉事務所等の各関係機関の方々を対象とした施設の内覧会でお披露目をし、翌日25日には事務所、27日にはご利用者の居室の引っ越しをしました。

引っ越しの前の1週間は、4年ぶりの積雪のため中止となった1月23日を

除き、法人内の各施設から毎日数名の職員が応援に来てくれました。おかげで、きずなの職員だけでは手が回らない細かい部分まで準備が出来て、無事に引っ越しを終えました。

引っ越しの荷物は、階ごとで色分けされて（1階白、2階オレンジ、3階黄、4階青、5階ピンク）いるのでまごつくこともありませんでした。

職員やご利用者も引っ越しで荷物を整理する中で、過去を振り返るきっかけになり、不要な物を処分することで新たに前向きな気持ちで新生活がスタート出来ました。

2月の母親懇談会ではお母さん達から、快適な生活が送れているとの発言が多くあり、準備にあたった職員も胸をなでおろしたところです。

これから管理棟・B棟の解体工事、第2期工事がスタートし、地域の皆様にはご迷惑をおかけし申し訳ありません。また、保育棟が別棟のため、ご利用者には不便な点もありますが、ご利用者、職員で、この新棟を大切に使用していきたいと思えます。

母子支援員（社会福祉士）
白井 厚子

施設 だよい



春が来た！

連雀

春のチャレンジ

4月は新年度を迎え入学や進学、就職など変化がある季節です。環境の変化が激しい季節ですが、昨年の4月、私もあんしんセンターへ異動となりました。今まではホームの介護員として仕事をしていたので、地域に出る機会が少なかったのですが、新しい部署では、外に出ることが多くなりました。ご利用者のご自宅へ訪問すると、いろいろなお話を聞かせていただくことができます。その中で好きな季節をうかがうと8割の方が「春」と答えられ、「春」がお好きな方が多いことがわかりました。

「春は暖かく外に出るのも気持ちがいいですよね」「そうなの。冬は寒いから自宅からでるのが億劫。春になって暖かになると桜が咲くのが待ち遠しいわね。お花見に外に出るのが気持ちいいから「春」が好きなの。」

「九段下の桜を見たことがないの。今年は見に行くのが目標。桜が咲くのを楽しみにしています」と素敵な笑顔を見せてくれます。

相談員（社会福祉士） 友田充洋



あさひ苑

変わらず目指します

あさひ苑は今年25周年を迎えます。あさひ苑がオープンした25年前には小さかった桜の街路樹が今は建物の2階まで大きくなりました。

あさひ苑で働く職員は変われど、目指すことは今も変わりません。食事係では、「家庭の味を大切にご利用者のお顔を思い浮かべながら美味しく食べやすい食事づくり」を目指しています。調理する職員がご利用者を訪問し食材や調理法などのお話や、時には叱咤激励をいただき日々の食事づくりの糧にしています。春にはやさしい色の組み合わせの春御膳やほろ辛い山菜献立、夏は涼を感じる冷たい献立、秋の味覚、きのこや芋栗銀杏献立や紅葉をイメージした行事食、冬には体が温まる献立などをご用意します。

変化が感じにくい建物の中でも、行事食や四季折々の食材を用いた献立または調理法でお食事から季節を感じることが出来ます。日常でもご飯をつくるいい匂いがしてくると「あ〜今日のごはんは何だろう」とワクワクしたように、あさひ苑でもご飯の時間が近づくといい匂いがしてきてご利用者が「今日は何かな」と感じていただけるような工夫もしていきたいと思えます。あさひ苑という大家族の食事をつくる私たちが今年度目指すことです。

食事係（管理栄養士） 竹内友恵



暖かい日差しが心地よい季節になりました。各施設から新年度、新生活に向けた笑顔あふれるお便りが届きました。



新棟が完成しました



きずな職員一同
これからも頑張ります！



柱の色で何階かわかります



広々した玄関ホール



お料理が上手くなりそうなキッチン



宿直室も機能的に



明るく機能的な新事務所



旧事務所

泉苑

ふたたび
自転車に
乗れる喜び

以前から膝の調子が悪かったM様。地域包括支援センターの相談員として関わることになったのは、その膝の手術を行うための入院中の時でした。手術後間もない時は車椅子での移動でしたが、本人の希望により「退院後もリハビリを続け、また自転車に乗りたい」という目標を立てました。包括相談員としてはケアマネジャーを調整し、自宅に同行訪問します。そこでも「自転車で乗りたい」という思いを伝え、M様は通所リハビリ(デイケア)を利用することになりました。人とお話も好きなM様はすぐに通所リハビリの職員や他利用者様とも仲良くなり、日に日に歩けるようになってきました。



地域包括
支援センター
相談員
(社会福祉士)
岩淵研哉

きずな

新生活に
向けて

4月に小学校に入学するA君。毎日、お母さんが自転車に乗せて保育園へ通園しています。ところがある日、自転車に乗らずに帰ってきました。理由を聞いてみると「僕、来年小学生になるから歩く練習しているの。」との返事がかえってきました。歩くことが苦手だったので、その言葉に驚きと成長を感じました。

春になると子ども達は入園、入学、進級と新たな環境でのスタートとなります。お友達出来るかな、勉強についていけるかなとお母さんや職員は心配ですが、大人の心配をよそにいつのまにか溶け込んでいます。

また、入進学時には保育園や学校に花がこ、子ども達には花束を送っています。その花のように華やかに輝いた新生活を送ってほしいと願っています。



今後子どもの
成長をお母さんと
一緒に見届けてい
きたいと思います。
母子支援員
(社会福祉士)
高橋風子

岩本町

笑顔が一番!

デイサービスのご利用者は入浴することが目的だったり、他のご利用者や交流するためだったり利用目的は様々ですが、共通することがあります。それは、ご利用者全員が「笑顔」になることです。ある日AさんとBさんが塗り絵をしていました。職員がAさんの塗り絵を見て「きれいに塗れていますね」と伝えると「そんなことないわよ、Bさんの方が綺麗に塗れているわよ」と話され、Bさんが「私のよりAさんの方が素敵よ」とお互いの絵を褒めあい、照れくさそうに笑っていました。職員もお二人のやり取りを見て笑ってしまいました。



ご利用者が
「楽しかった」と
言ってくれたら、
こちらも笑顔あふ
れるよう、皆様と
活動していきたい
です。
デイサービス
介護員
(介護福祉士)
君塚美咲

しらとり

サクラ咲く
春を
目指して

桜舞う新年度、しらとりの子どもたちも進級です。この4月から中学3年生になり、受験生となる子どもがいます。入所したころは勉強も苦手で、「高校には行きたい」と言っていた目標も漠然としていましたが、今では将来どんな仕事をしたか、そのためにもどのような勉強が必要なのか、高校は家から通える距離かどうか…と具体的に検討しながら志望校を絞っています。

しらとりの事業の一つである学習サポートサロン「SKY」や外部の学習塾、学童職員と勉強の時間を取るなど、目標に向かって意欲的に勉強を進める姿に成長を感じ嬉しく思いつつ、「この問題の解き方はどうだったけ…」と職員も学生時代の記憶を呼び戻しながら必死に後押しをしています。笑顔でサクラ咲く春を迎えられるように伴走として一緒に頑張りましょう!



少年指導員
(社会福祉士)
佐藤友里恵

緑苑

桜の思い出

春になると緑苑屋上から鮮やかなピンク色のトンネルが見えます。それは緑苑のすぐ近くにある桜通りの桜並木です。ここは春の外出活動の定番のお散歩コースになっていて、ご利用者の皆様も大変喜ばれる身近なお花見スポットです。ご利用者のY様に桜の思い出を伺ったところ、府中市にある東郷寺のしだれ桜が綺麗で奥様とお寺の見学と一緒に桜を見て帰った思い出やお墓まいりで訪れる多磨霊園のしだれ桜も春にはよく見えたと言っていました。Y様は桜の中でもしだれ桜がお好きのようで、あの独特な枝垂れた感じが綺麗だと言われていました。今年も皆様と一緒に季節の移り変わりを感じながら過ごしていきたいです。



ホーム介護員(介護福祉士) 渡邊祐太

たっち

いろんな色、
春の色

空気の冷たい冬から段々とふんわりとした暖かい空気に変わってきた今日この頃。たっちのひろばでは、来月から新しい年度ということで、幼稚園・保育園に入園、進級、小学校入学のみならず、ドキドキ、ソワソワもありつつ新しい生活にワクワクしながら遊ぶ姿がみられます。特に小学校入学の子どもたちは、「たっちに来て遊べるのもあと少し!!」と意気込んで遊ぶ姿が印象的です。

そんな中、火曜・木曜・土曜日の11時からみんなで一緒に歌を歌ったり、パネルシアターを見たりするスポットタイムで制作をする日がありました。パネルシアターを見た後、色々な色のクレヨンを使ってクローバーやチューリップ、たんぽぽなど春の草花に色をつけました。出来上がった作品は、たっちのひろばの壁面に飾りました。色の少ない冬の季節から、鮮やかな色で彩られる春。色の華やかさから春の訪れを感じます。



交流ひろば(保育士) 石田陸美

ニュースミニ

求人情報ウェブサイト開設

多摩同窓会では、採用情報の充実を図るために、求人情報専用のウェブサイト(RECRUIT GUIDE)を2月から開設しました。

正職員の求人情報や採用試験情報のほか、各施設で募集している常勤契約職員や非常勤職員の求人情報、職員のインタビュー動画やメッセージ、職種ごとの一日の業務、キャリアパスや働く環境について等々を掲載しています。スマートフォンやタブレットでも見やすいサイトになりましたのでぜひご覧ください。

また担当者会議における若手職員からの提案を受けて、フェイスブックの公式ページも開設しました。まだ試行錯誤中ですが、今後一層充実していきますので、ぜひフォローやいいねをいただければ幸いです。

(事務局 青木志乃)



Facebookページはこちら

RECRUIT GUIDEはこちら

御寄贈・御寄付ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

(株)アップルファーム (株)ウテナ (株)協和協和ふわりい基金 天野加代子 石井宏 一般財団法人熊崎報恩財団 伊藤忠テクノソリューションズ(株) 上野恒章 NPO法人杉並区民オペラ 大沢良三 (株)カーブスジャパンフットドライブ事務局 国際ソロプチミストあきる野 国際ソロプチミスト東京府中 坂本博治 サンパレス本八幡 浄土宗八王子組青年会 鈴木千秋 セカンドハーベストジャパン 高橋源樹 永井文子 日本出版販売株式会社 プランシヤルシララタファイナンシャル生命保険株式会社 マルキ松戸店 三上好光 三井物産株式会社 宮崎永子 明治安田生命千代田支社 山根多恵子 吉田ヒサ子 (2017年12月~2017年2月)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

青木見子 青野まり 赤田美恵子 赤林好子 網代恵美 青木見子 荒波智子 有本陽子 飯田と志子 飯塚喜 亥子 開基を築く会 石井久子 石井宏 石坂勝世 石坂トメヨ 市川アイ子 市川知子 井出睦子 井上智美 今喜多トシエ 上野時子 植松八千代 魚川桂子 内保三重子 内堀美喜 梅原薫 梅原光洋 卜部和子 上床見代 NEC吹奏楽 遠藤伊代 遠藤みつよ 遠藤陽子 大倉弘子 大島庸子 太田久美子 大野文子 大原捷子 大類浩平 岡田基子 岡野洋子 小川健治 荻野和子 奥山亜子 奥山千々子 小倉富子 オコサの会 尾崎節子 尾崎晴子 尾崎絃之 尾崎靖宣 押立琴の会 音楽園 おはなし夢くらぶ 岩崎順 Ohana Hula Team 小柳亜樹子 折田浩一 カレックト 海江田紀久子 鹿島キチ 鹿島千重子 船野美千代 片桐キミ子 カットサロンアベ 加藤栄子 加藤静 加藤規子 加藤美美子 加藤洋子 金指真美 金澤静江 金子武仁 上沢美和子 上村修 神山しげ子 亀岡紀知信 蒲生明子 川崎雅人 川村智子 菅田幸枝 菊池和彦 菊地裕子 ギター演奏による歌の会 北島美恵子 木谷教子 北村よしこ 木森哲 具嶋郁子 國定毅 久保田摩耶子 久保紀子 蔵内睦子 栗原宏子 黒川澄子 黒川トヨ子 桑原侑子 弦間まさ 小石曉子 小出 晨一 小出由美子 石澤圭子 小久保桂子 小島ユミ子 小島百合子 小菅よし江 後藤祐輝 小林照子 小林真弓 小林道子 小林わか子 駒ヶ嶺奏秀 是永美代子 今野幸子 ザ・ポデイションップ 齋藤健三朗 齋藤孝子 斎藤千枝子 酒井和子 坂本越子 佐久間桂子 佐治美枝子 佐藤イソ 佐藤公子 佐藤妙子 佐藤千鶴子 佐藤なな子 佐藤初江 佐藤秀和 佐藤正江 佐野田鶴子 椎名君代 塩澤佳津子 塩澤千鶴 重田文子 品田啓子 島津たか子 島田たず 清水文枝 清水光子 下江美鈴 下宏子 進藤サエ子 進藤登美子 新村信子 杉浦真知子 杉本 節子 杉山恵子 鈴木暉子 鈴木瞳 鈴木好枝 鈴木好子 スターバックスコーピー すみれ会 声楽アンサンブル 瀬戸貞子 浅間の森ハン ドベルの集い 泉笑會 高橋恭子 高橋チヨ子 高橋ヤヨイ 瀧澤千登勢 竹内由美子 武野純子 竹松ふく 田島みよ 田中久美子 谷野みよ子 田部美智子 玉木由美子 多摩マイル吹奏楽団 田村知江子 丹野由紀子 千葉よし ちよだ絵本の会 土屋とき枝 堤明 椿原量子 寺町律子 戸島正子 柄谷さき 富田秀子 豊田悟史 中垣春代 長島広美 中野渡とみ子 永峰恵子 中村清美 中村フサ子 中村美佐江 中村恭俊 中山伊久子 中山寿美 成瀬広子 二胡とゆかいな仲間たち 濁川直之 西野侑子 西村珠美 二宮澄子 根岸路子 野坂昭弘 野坂豆代 能登すみ子 Palm Echoes 橋場昭 長谷川志津子 早矢仕房男 原田君枝 原田園彦 原田康子 原俊江 樋口淳子 樋口よし子 肥後住江 久島なる子 日高千敦子 平泉順子 平岡美津子 平澤みどり 平松ふじ子 広木さく江 深堀紀美子 福田佐代子 福田トミエ 藤記節子 藤田京子 府中市立小柳小学校プラスチックバンド 船岡栄子 舟見三佐子 プリモ・ピアット 古園純子 ふれあいクラブ 浅間 保坂良子 星野若佐 細木南美 堀田武三郎 堀江深雪 本多美智子 孫田一昭 政所優季 町田知行 松沢信子 松下健 松田恵子 松野アイ 松実宏枝 丸田のぶ子 三坂和子 三輪孝子 壬生みつ子 宮崎清子 雅 明神淑恵 村井福子 村岡栄美子 明治安田生命 本野幸子 百瀬洋子 守屋貴美子 森脇敦子 矢崎英子 安木輝子 山崎キヌ子 山田一丸 山田佳津江 山田ケイ子 山田順子 山野栄治 山本恵美子 山本峯子 山森貞枝 鐘浦千寿子 ゆうかファミリー ユロクリア・バンク 横尾美知子 吉岡秋夫 吉竹山秀子 吉田恒雄 吉田ヒサ子 吉田陸子 吉本栄子 米渡辺勇 るりまっぴの会 朗読赤十字奉仕団 脇山令子 渡辺勇 渡辺一恵 渡辺勝征 渡邊恵子 渡邊弘子 渡辺浩美 渡邊房子 渡辺守 (2017年12月~2017年2月)

編集後記

きずなは第1期工事が終了し、事務所と居住棟の引越しが無事に終わりました。新たな建物とともに新鮮な気持ちで日々を過ごしていこうと思います。(きずな 白井厚子)

気づけば今年度最終号。来年度はどんな出来事が起こるか期待を持ちつつ季刊しんあいを見て今まで振り返っています。(しらとり 山中育佳)

今年の冬は大雪に、大寒波：毎日寒さとの戦いです。暖かい春が待ち遠しくて仕方がない今日この頃です。(たっち 星野幸子)

インフルエンザが大流行しているのだからに手洗いうがいに努めたいと思います。(岩本町 村上壽則)

厳しい寒さが続き春の暖かさが待ち遠しい日々、雪が溶けたら自転車山へ走りに行きたいです。(かんだ連雀 栗沢尚広)

数年振りの大雪。その時は大変でしたが、3/4月でまた降らないかなあと密かに期待しています。(泉苑 岩淵研哉)

きずな内覧会のお手伝いをさせていただきました。70年前のきずなのお話を地域の方から伺い、社会福祉法人が地域でしっかりと根付くことの大切さ学びました。(編集長 上野廣美)

介護に関するご相談は 無料ダイヤルで! ●泉苑 ☎0120-6540-24 老後支援24時間 ●あさひ苑 ☎0120-2942-24 福祉につこり24時間

